

12月8日から、特掃事務所の場所が変わります

西成労働福祉センターで紹介票をもらった後、少し遠いですが、萩之茶屋駅近く、南職安跡の一時特掃事務所で受付を！（地図参照）

特掃事務所の場所が一時、移動します。移動する先は、南海電車萩之茶屋駅近くの南職安跡地です。西成労働福祉センターで紹介票を受け取ったら、少し遠いが、南海本線に沿って南へ、萩之茶屋駅を越えて二つ目のT字路を左、南職安跡地の一時特掃事務所で受付をして下さい。

フェスティバルゲートも、草刈りも、道路も、地域外も、センター清掃以外はすべて、新しい受付場所に行ってください。

新しい場所での受付は、二ヶ月間の予定です。二ヶ月後には、再び三徳寮横の特掃事務所に戻ります。一時異動の理由は「夜間宿所」建設工事のためです。ご協力をお願いします。



「夜間宿所」が「三徳」横に増設されて、合計千人規模に

近隣住民 町会の理解と協力にも感謝を！ 周辺に配慮した利用を！

現在600人が利用している三角公園南の「あいりん臨時緊急夜間避難所」は、当初、今年の3月までの期限つきであったが、周辺住民の協力で3年間延長されることになって利用し続けているものだ。

「三徳寮」東に建てられている大テントやアルジェリア・テントを使って、850人の寝場所が確保されていた

時でも、秋の終わりから梅雨時にかけて、100人、200人とアブレる人が出た。

アルジェリア・テントが使えなくなり、大テントも使えなくなり、中之島の大テントはあるものの、釜ヶ崎の中の寝場所はかなり狭まった状態が続いているといえる。

「センター夜間開放」の時には、1000人が寝たことを考えれば、寝場所の確保は切実な課題であり続けている。

その寝場所が、ようやく増えそうな気配が見られるようになった。三徳横に、400人利用可能な夜間宿所が建設される。

三角公園南の夜間宿所よりちょっと変わったものになるようだ。利用開始は、1月中旬の予定とみられる。

寝場所が千人規模で確保されることになれば、センター周辺を取り囲む長時間の列、場所取りも緩和するものと思われる。

周辺住民の中には、夜間宿所は野宿問題の根本的な解決にはならない、今宮中学校周辺や釜ヶ崎地区内の状況を大きく改善することにつながらない、という意見もあるようだ。

誠にもっともな意見であると思う。釜ヶ崎支援機構も、仕事による解決を求めている。臨時緊急避難的な寝場所対策が、一日も早く必要でない状態になることを望んでいる。

しかし、まだまだ寝場所対策が必要な状況である。今後も、理解ある近隣住民、町会と力を合わせて、抜本的解決に向けて力を注いでいきたい。

利用開始は、まだ先の話だが、利用に当たっては周辺に迷惑のないように充分配慮することが必要だ。

新しい夜間宿所の周辺には、簡宿もあればコインロッカーもある、喫茶店もある。営業される方がもっとも嫌うことは、入り口がふさがれることだ。整理券を配ってから入所までの時間を、なるべく少なくすれば、入り口で待つ人数も少なくなると思われるので、運営の点でも努力するが、利用する人も、気をつけてもらいたい。

生活保護申請、年内は12月12日まで！

今年も残り僅かになってきた。年末年始は、役所の窓口も休みが長い。せっかく生活保護申請しても、お金が入ってこない、申請する意味がない。

年内に敷金や生活費の支給を受けようとすると、12月12日までが限度のようだ。それ以降になると、来年回しになる。生活できなければ仕方がないので、生活保護申請を年明けまで延ばさざるを得ない。それまでは、ケアセン・臨泊でつなごう。